



私たちもできるところまでやってみよう ～バラの制作～

キノハナさんが来校してくださった時は北相木村の木を削って出てきたカンナくずを使ったカーネーション作りを教わりました。kinanoの皆さんは、さらにきれいなウッドフラワー作りを追究し、2年かけてカンナくずを使ったバラを開発したり、さらにその花に色をつける研究をしたりしていることを知った子どもたちは、自分達もぜひ挑戦させてほしいと願い、kinanoの皆さんにお願いをしました。カーネーションに比べて難易度のかなり高いバラ作り。しかし、kinanoの皆さんは私たちの願いを快く引き受けてくださいました。

実際に作ってみると、子どもたちからは「カンナくずがすぐに裂けちゃう。」「バラに見えない。」「kinanoの皆さんはこんなに難しいものをあんなに簡単そうに作っていて本当にすごい。」と言った声がたくさん聞こえてきました。その繊細な作業にとっても苦勞しているようでした。しかし、何度か作っているうちに少しずつコツをつかみ始めた子どもたち。自分たちの理想の形に近づいてくると、次は「カンナくずを染めてみたい。」と願い、草木染めに使用するための玉ねぎの皮などをお家から集め始めました。

自然のものからこんなにきれいな色が!! ～カンナくずの草木染め～

自分たちが集めてきた玉ねぎの皮やブルーベリー、みかんの皮を使ってキノハナに使用するカンナくずを染めてみました。どちらも自分たちで草木染めの方法を調べて取り組みました。「色を定着させるために行う焙煎は先が良いのか、後が良いのか」「お湯の量は?」「温度は?」と、調べたことを基にしてどんどん動く子どもたち。玉ねぎの皮を入れたお湯はどんどんオレンジ色になっていきます。ブルーベリーの方は、ワインのような色になっていきました。みかんの皮はちょっとした異臭騒ぎに…(^^;)。でも色はしっかりと出ました。色が出たお湯に入れたカンナくずがどんどん染まってくると、子どもたちからも歓声が入る。素材や水の量によっても変わってくる色の変化も楽しんでいました。



キノハナ kinano の皆さんとのコラボ!

“自分たちが学んできたことを、キノハナを通して全校の皆さんに伝えたい”そんな願いをもった子どもたちに坂本さんから、キノハナ kinano さんとのコラボ企画(50cm四方の額縁に5年2組とkinanoの皆さんが作ったバラやカーネーションを合わせてウッドフラワーアレンジメント作品を作る)のご提案をいただきました。

そして、コラボ作品の制作に向けて頑張っている子どもたちに、坂本さんからお手紙をいただきました。



先日、小山先生から驚きの写真をいただきました。それは、みんなの作ったキノハナの写真です。すごくきれいに作ってありました。きれいに作ってくれてありがとう。みんなが一生懸命作ってくれたことが本当に嬉しかったです。小山先生から素敵なコラボ企画の話を聞いています。「みんなのキノハナ」と、「キノハナ kinano のキノハナ」を組み合わせて1つの作品を作るコラボ企画です。みんなのキノハナを見られる日を楽しみにしています。必ず素敵な作品に仕上げるので楽しみにしてください。

みんなに会えたこと、幸せに感じています。素敵な出会いに万歳!! (坂本さんからの手紙一部抜粋)

自分たちの活動、そして、人との出会いから学んだもの。それは、木の魅力、その魅力をもっといろいろな人に知ってもらうための努力、一つのことを追究していくこと等、子どもたちは様々なことを受け取っていました。出来上がったウッドフラワーアレンジメントは、自分たちの思いと共に学校に寄贈させていただく予定です。どんな作品になるのか、とても楽しみです。